

## 『NBS 2024 年 秋季講演会』 の ご案内

次回開催の「2024 年秋季講演会」は、講師に工作機械技術振興財団理事長の安達俊雄氏をお迎えし、「私の体験的日本経済論—今日的状况の診断と処方箋—」というテーマでご講演をいただきます。

安達様は旧通産省のご出身で、同省大臣官房審議官、内閣府局長等を努められた後、シャープ（株）副社長、日本機械工業連合会副会長などを歴任され、現職に就かれています。

ご講演の中では、氏の幅広いご経歴を踏まえて、

「国際政治・経済やエネルギー需給構造、人口動態等において今起きている構造的変化の一方で、日本経済・産業・社会の無視できない体質は何か。これらを踏まえた有効な内科的・外科的処方箋は何か」

といった、ご自身の日本経済についての状況認識と今後に向けての処方箋などをお伺いできるとのことです。

ご多用中とは存じますが、皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

NBS 理事長  
観野 福太郎

### 記

#### 《NBS 秋季講演会 概要》

1. 日 時            2024 年 11 月 5 日(火)            講演会 15:00～17:00
2. 場 所            霞が関 商工会館 5H 会議室  
(住所)千代田区霞が関 3 丁目 4-2
3. 講演会            講師：安達 俊雄 氏  
(工作機械技術振興財団 理事長・前 日機連副会長専務理事)  
演題：『私の体験的日本経済論—今日的状况の診断と処方箋—』
4. 参加費            一般参加者 2,000 円            NBS 会員 1,000 円

#### 《ご講演骨子：(仮案)》

1. ビジネス環境の構造的変化
  - ① 80 年代以降の新自由主義的経済の退潮
  - ② 背景となる世界経済の多極化と国際政治の変調

- ③地球温暖化とエネルギー供給構造の変貌
- ④DXとビジネスの角逐
- 2. 日本経済の体質とその変化・今後の処方箋
  - ①「アジア的人口稠密社会」の終焉
  - ②日本経済社会の得意と不得意
  - ③過当競争体質と失敗事例、失われた30年における成功事例
  - ④DARPAビジネスと日米比較
  - ⑤新重商主義時代とΣGNT
  - ⑥日本再生の歴史を振り返る

《講師ご略歴》

- 昭和 46年 通商産業省入省（京都大学法学部卒）  
中小企業庁、資源エネルギー庁石油部、機械情報産業局（情報処理振興課）、  
トロント商務担当領事、通商政策局（西欧アフリカ中東課）、同局経済協  
力企画官、静岡県商工部長等を経て、
- 平成 3年 立地政策課長  
平成 4年 産業機械課長  
平成 6年 防衛庁装備局管理課長  
平成 8年 大臣官房審議官（貿易局及び環境立地政策担当）  
平成 13年 内閣府沖縄振興局長（初代） 同府政策統括官  
平成 15年 シャープ(株)入社  
平成 19年 同社代表取締役副社長  
平成 26年 日本機械工業連合会 副会長専務理事  
平成 30年 S T S フォーラム相談役  
令和 5年～ 工作機械技術振興財団理事長（現在に至る）

【お申込み方法】

・ご参加ご希望の方は、下記のアドレス宛に E-mail にて お申込みください。

【連絡先】 < [hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp](mailto:hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp) >

NBS 事務局 : 橋本 宛

以上